

## フロプロピオンカプセル Flopropione Capsules

**溶出性**〈6.10〉 本品1個をとり、試験液に水900mLを用い、パドル法(ただし、シンカーを用いる)により毎分100回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液20mL以上をとり、孔径0.45 $\mu$ m以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液10mLを除き、次のろ液VmLを正確に量り、表示量に従い1mL中にフロプロピオン(C<sub>9</sub>H<sub>10</sub>O<sub>4</sub>)約8.8 $\mu$ gを含む液となるように0.1mol/L塩酸試液を加えて正確にV'mLとし、試料溶液とする。別にフロプロピオン標準品(別途0.5gにつき、容量適定法、直接滴定により水分〈2.48〉を測定しておく)約22mgを精密に量り、メタノールに溶かし正確に50mLとする。この液2mLを正確に量り、0.1mol/L塩酸試液を加えて正確に100mLとし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、0.1mol/L塩酸試液を対照とし、紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により試験を行い、波長284nmにおける吸光度A<sub>T</sub>及びA<sub>S</sub>を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

フロプロピオン(C<sub>9</sub>H<sub>10</sub>O<sub>4</sub>)の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_S \times (A_T/A_S) \times (V'/V) \times (1/C) \times 36$$

W<sub>S</sub> : 脱水物に換算したフロプロピオン標準品の秤取量(mg)

C : 1カプセル中のフロプロピオン(C<sub>9</sub>H<sub>10</sub>O<sub>4</sub>)の表示量(mg)

### 溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
40mg	45分	80%以上

フロプロピオン標準品 定量用フロプロピオン(日局).